漢詩の風景(2)

石川 忠久

漢文の訓読

漢文を日本語の規則に従って読むことを**訓読**という。漢字だけで書かれた原文を**白文**といい、これに**訓点**という訓読のための文字や記号を加えたものを**訓読文**という。訓点には、送り仮名・返り点・句読点がある。

〈白文〉春眠不覚暁 →〈訓読文〉春 眠 不レ 覚エレ 暁ヲ

●送り仮名…漢字の右下に、カタカナで送り仮名を書く。訓読では、「て・に・を・は」といった助詞や、助動詞なども補う。

（例）国 破レテ 山 河 在リ

●返り点……漢文を日本語の語順で読むため、漢字の左下に補う。

・**レ点**………下から上に一字返って読むことを表す。

（例）[2]レ [1]　不レ 覚エレ 暁ヲ

・**一・二点**…下から上に二字以上返って読むことを表す。

（例）[3]二 [1] [2]一　聞クニ 啼 鳥ヲ一

訓読文を漢字仮名交じり文に書き改めたものを**書き下し文**という。

〈訓読文〉春 眠 不レ 覚エレ 暁ヲ →〈書き下し文〉春眠暁を覚えず

訓読文を書き下し文に直すときは、次のような決まりがある。

・送り仮名はひらがなに改める。

（例）国 破レテ 山 河 在リ → 国破**れて**山河在**り**

・返り点が示す順に従って書き改める。

（例）**聞**クニ **啼** **鳥**ヲ一 → **啼鳥**を**聞**く

・漢字は原則そのままだが、「之（の）」「不（ず）」などの助詞・助動詞はひらがなに改める。

（例）**不**レ 覚エレ 暁ヲ → 暁を覚え**ず**

〈白文〉春眠不覚暁

〈訓読文〉春 眠 不レ 覚エレ 暁ヲ

〈書き下し文〉春眠暁を覚えず

確認テスト

(1) 返り点に従って、次の□に読む順に算用数字を書きなさい。

□レ□□□レ□

(2) 返り点に従って、次の□に読む順に算用数字を書きなさい。

□レ□□二□□一

(3) 次の数字の順に従って□を読むように、返り点を書き入れなさい。

2　1　5　4　3　6

(4) 次の数字の順に従って□を読むように、返り点を書き入れなさい。

1　5　2　3　4

(5) 次の訓読文を書き下し文に直し、解答欄（かいとうらん）に当てはまる言葉を書き入れなさい。ただし「不」は助動詞に当たる言葉である。

渾（すベテ）欲（ほっス）レ不（ざラント）レ勝（たヘ）レ簪（しんニ）

渾べて簪に〔　　　　〕